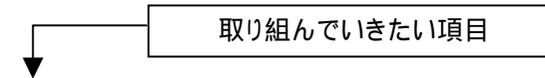


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	社の運営理念をスタッフ共通の目的とし日々念頭に置いてケアに努めている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議の場においてスタッフ全員で運営理念の唱和を行い、又ホーム内に明示し日々運営理念に沿ったケアに努めている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	年2回イチゴ狩り・納涼祭はご家族様に参加して頂いている。納涼祭に関しては地域の方にも参加を呼びかけ少しずつではあるが参加人数が増えている。ご利用者様が参加出来そうな自治会等の活動には積極的に参加している。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご利用者様と散歩の行き帰りなどに挨拶をする程度で、気軽に立ち寄ってもらう付き合いまでには至っていない。		近隣の方との交流を深める為、ホーム内に地域交流委員会を設置し活動している。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の夏祭り・運動会などの見学、長寿学級への参加はしている。小学生・保育園児の訪問はあったが継続的までには至っていない。買い物の際はホーム周辺のお店を利用し交流に努めている。		地域とのふれあいは社の理念にもある。活動停止状態だった地域交流委員会を5月から再スタートし現在協議中である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>現状ホームのご利用者様の介護で一杯であり地域貢献までの話し合いは出来ていない。</p>		<p>地域交流と踏まえて考えていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>ホーム内では気付かない点など外部から指摘されることにより、新たな気付きを発見する良い機会になっている。評価を活用し改善策を話し合っていきたい。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの現状困っている点など報告し意見をして頂いている。様々な意見を活用し今後のケアに役立てている。</p>		<p>開催が平日の為働いている家族の参加者は難しい。同じ家族が毎回出席して頂いているのが現状。開催日の検討をしていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括センターのケアマネや市役所の高齢介護福祉課とは積極的に情報交換を行っている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護・成年後見制度という言葉は知っているが、深く学ぶ機会は作られていない。</p>		<p>これから先、必要になってくるご利用者様も考えられる。「権利擁護センター」の存在等、スタッフと熟知していく必要がある。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止については会議で勉強する機会を作っている。現場においてもスタッフ同士注意を払い防止に努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約、解約時は、ご家族様と面談し、十分な説明を行い理解、納得を図っている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者様がスタッフに遠慮しないように何でも言ってもらえる関係を築くように心掛けている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、電話・レターでホームでの生活ぶり健康状態などは家族へ報告している。金銭管理については事務所で定期的に家族へ郵送している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口を設けており、苦情等があった場合は速やかに対応策を検討</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ユニット会議、意見ノートでスタッフの意見を聞き話し合いをしている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>病院への通院、行事の日などスタッフが必要な際は、各階のリーダー同士で話し合い人員確保に努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職率が高いのが現状であるが、考え直す声掛けは行っている。ご利用者様への影響を考え常日頃からスタッフは他階にも関わりを持つようになっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会の研修会は全てのスタッフではないが参加している。外部の研修会等の案内はホーム内に掲示しているが、参加は金銭的な面もあるので自主性に任せている。		スタッフのスキルアップのために社内での勉強会、講師を招いた研修会を実施していた。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修に参加している。当ホームの納涼祭に近隣のグループホームを招待し交流を深めている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	本部にヘルプディスクを設置している。ホーム内でも年に数回親睦会を開きスタッフのストレス軽減の場を設けている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況は把握できているが、個々の取り組みや努力を把握できていない。中には向上心を持ってない職員もいる。		職員の抱えている悩みや不満に対して、個別に面接を行い問題解決に努める。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接、アセスメント等でご本人様の不安や悩みを導き理解に努めている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様が納得、安心できるまで何度も面接を行い信頼関係が築けるように努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者様、ご家族様のニーズに沿ってケアプランを作成し、相談を受けた時もそれに沿えるように努めている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご利用者様の家に訪問し生活環境を把握したり、ご本人様にも事前に見学に来て頂くようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご利用者様に昔の話を聞いたり一緒にレクを楽しみ笑顔を多く引き出せるようにしている。また、怒っている時悲しい時などは、しっかり話を聞くようにしている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様にはご利用者様の事以外も話しコミュニケーションをとっている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>行事にはご家族様にも参加して頂ける様、お知らせしお誘いしている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>希望があれば可能な限り対応している。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>レク時には皆様に声掛け行方も全員参加はできていない。</p>		<p>一人ひとりのペースを大切にしていきつつ全員が楽しめるレク等を考えていく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現フロアでは退去で他の施設に移った方はいない。退去理由は逝去であるため、その後の継続的な関わりは今のところない。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話を通じて本人の希望や悩みを聞きだす努力をしている。意思疎通が困難な利用者様は言動に注目し何を望んでいるのかを考える努力をしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族様が記入した入居者情報をスタッフが把握し又はご利用者様との会話の中で良く出てくる言葉など疑問に思ったことはご家族に尋ねている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	これまでの暮らしを考慮し一人ひとりのペースに合わせ、声掛けやレクを行っている。スタッフ全員が日々観察しカンファレンス等で意見を持ち合い、現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	変化が生じた場合、その都度ケアカンファレンスを行いスタッフ同士やご家族様、ご本人様にも相談しながらプランの見直しを行っている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	対応できない変化が生じた場合、即座にカンファレンスを行い、ご本人様、ご家族様と話し合った上で計画の見直しを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日報や個人記録に具体的に記入しスタッフで情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	遠方のご家族、働いているご家族の状況を踏まえ通院介助等は柔軟な対応を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練では消防署の方が見え、ご利用者様も非難し、また消火訓練も行っている。 ご本人の意向ではないが定期的にボランティアに来て頂いている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市が開催する連絡会議等に参加し、他のサービス利用や情報の交換を行っている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議のメンバーであり、進んで連絡をとり情報交換を行っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の意向に基づいて掛かりつけの医師と相談しながら受診、往診の支援を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医とのお付き合いはないが往診(内科)又は精神科医に症状の報告相談はしている。		親身に相談にのってくれる認知症専門医又は詳しい医師を探したい。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週2回訪問看護師が来ておりその都度相談やご利用者様の様子を報告している。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先に定期的に面会に行き、担当医に経過や状況を聞き、その情報をスタッフで共有しホームでも早期退院に向けた準備をしている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化が考えられる場合は、ご家族様の意向、医師の考えスタッフ全員の考えを交え繰り返し話し合いをし対応策を検討している。		2回家族のご要望で看取りを行ったが、逝去後スタッフから色々な意見が出た。それをクリアにしない限り現状では看取りは困難だと考えている。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様の意向を踏まえホームで出来ること、出来ないことを明確に伝えていき、医師と相談しながらご本人にとってより良い場所を検討している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化はご利用者様にとって不安、戸惑いの要因になり得るが、現状では介護サマリーのみで話し合いや情報交換場は設けられていない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者様が不安に思うような対応、言葉使いはしていない。記録等に関してもご家族様が不快に思うような言葉は使わない。個人情報の取り扱いには常に気をつけている。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者様の全てを受け止め傾聴することによりコミュニケーションも取り、思いや希望を表せるように支援している。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせ話しの中でその人の希望を聞きだし、常に過ごしやすい環境を支援している。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容店に行ってはいるがご本人様の望むお店ではない。(特に希望も聞かれない)	ホーム周辺にも理髪店は何軒かあるので情報を得て選べるようにしていく。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様とスタッフが同じテーブルにつき好みや味を聞きながら食事をしている。箸たてを食事前にリレーで回してもらったり、片づけが出来る人には手伝ってもらっている。	食事委員会を月1回開催しご利用者様に喜んでもらえるように意見を出し合っている。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	量を調節しているが好みの物は選べるようになっている。	タバコを吸われるご利用者様がいますが、ご自分のペースで好きな時間に吸って頂いている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>尿意・便意が無い方や伝えられない方はトイレ誘導を行い排泄パターンの把握に努めている。</p>		<p>スタッフがそれぞれのご利用者様を理解し、些細なサインにも見過ごさないように努めている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的に希望を聞きながら入浴をしてもらい、人数が多い場合は翌日をお願いする場合がある。</p>		<p>特に時間は決めていないが現状では15時～17時になっている。スタッフの人員に余裕があれば夕食後の入浴も考えたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>リネンは曜日を決めて洗濯し汚れた場合はその都度取り替えている。日中夜間とも一人ひとりに合わせ様子を見ながら休息睡眠をとってもらっている。</p>		<p>一般的な1日の生活リズムを基本とし就寝、起床の声掛けはするが、その時々状況、希望に応じてご本人様の意思を尊重している。</p>
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その人その人の生活歴を聞いたりして過去の生活を尊重、支援しサポートしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数名ではあるが、お金を自己管理されている方もいる。おやつを購入に行く際にはご利用者様の好みの物を選んで頂き、お金を渡しレジにて清算して頂いている。</p>		<p>近くのコンビニまでタバコを買いに行く習慣のご利用者様もいる。店側も温かく見守ってくれている。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩おやつのお買出し時には、声掛けし希望される方は出掛けている。又、買い物等の希望が聞かれた場合はその都度対応している。</p>		<p>その人の性格を考慮し、1対1を好む方、3～4人を好む方など臨機応変に対応している。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>月1回の外食場所をご利用者様に選んで頂いている。ご家族と日帰り旅行に行かれる方もいる。</p>		<p>現在、どこに行きたいとの希望はほとんど聞かれず、聞き出す努力をし可能な限り支援していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも家族に電話できるようにしている。(働いているご家族が多いので負担にならない程度に)		手紙を書きたいと希望される方は少ないが、年賀状に一言書いて頂き送っている。書けない方は代筆している。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、ご友人、知人の方の訪問は自由。訪問時には他のご利用者様も一緒に話され穏やかに過ごされている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わない。		介護保険法上の身体拘束、高齢者虐待についてはスタッフが正しく理解しているかは確認していない。会議の場で確認していきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階の入り口は日中鍵をかけないようにしているが事故防止など状況に応じて鍵をかける場合もある。(家族には伝えてある)		理解した上で検討したが、少ないスタッフでご利用者の行動を把握するのは困難であり、安全面又は外部からの侵入を考えられるため、ホームの玄関開放は行っていない。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し監視にならないように、さりげない見守りを行っている。介助中など状況によってはご利用者の在所在を把握できない場合があるのも事実である。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬に関してはスタッフルームの薬品庫に鍵を掛け保管している。自己管理できるご利用者様にはタバコ、ハサミなどを持って頂いているが日々の生活行動には目を配っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ホーム全体で事故報告書、ヒヤリハット報告書を共有し会議の場で検討、対策を考えている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全てのスタッフではないが救急救命講習に参加している。会議の場などで不安点、疑問点を話し合っている。搬送時などに使用する利用者情報は常に最新の物にしている。		冷静かつ、すばやい対応が出来るように勉強会を実施していきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ご利用者様を交えて定期的な避難訓練は行っているが、近隣の人々の協力を得られるような働きかけはしていない。		夜間スタッフが少ない状況での避難訓練を実施し、近隣の人々の協力が得られる体制作りをしていきたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族様にはご利用者様のホームでの生活状況、身体状況を報告し予測できる事故と自由な空間で生活しているために起こり得るリスクを説明している。		各階で起きた事故報告、ヒヤリハット報告を回覧し会議の場で検討している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを行い特変などがあった場合はすぐにスタッフ同士や責任者に連絡し対応を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの処方箋が分かるようにファイルに綴じいつでも閲覧できる状態にしている。処方箋の変更、追加時は申し送りにて観察するように指導している。		服薬ミスがないようにスタッフ同士確認しながら服薬している。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操やレクリエーションで体を動かしたり水分補給(牛乳)などで便秘予防に努めている。		排便の有無をチェック表にて確認している。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアがあまり好きではないご利用者様には声掛け、介助を行っている。		義歯使用者には夜間中お預かりし洗浄している。ご利用者様によっては訪問歯科を利用されている。朝食前に口腔体操を行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	厨房と連携し、その人にあった食事形態を提供している。水分に関しては自発的に希望されない方は、さりげなく好みの飲み物を提供している。		起床時、毎朝時、10時、15時、入浴時と水分を摂って頂いている。10時には好みの飲み物をお聞きし、コーヒー、紅茶、ココアなどを提供している。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがあり、それに沿って実行している。外出後の手洗い、うがいはスタッフが基本であると熟知し実行している。スタッフとホーム内に入る際は、手洗い、うがいを徹底している。面会者にも声掛けしている。		ご利用者様、スタッフ共にインフルエンザの予防接種は済ませている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	厨房にて行っている。ご利用者様が使用しているお茶碗、コップなどは夜間中に消毒をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	目の不自由なご利用者様に分かるように自動ドアのガラス部分にカラーテープを貼る工夫をしている。靴の着脱がしやすい様に椅子を設けている。		親しみやすいように建物周囲に花壇を作りたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では不快な音や光がないように配慮し、季節ごとの飾りやご利用者様が作ったちぎり絵など、行事の写真も貼り、居心地良く過ごせるようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、リビングなど自由に行き来でき、居室にも自由に行ける様にしてある。リビングにはテレビ、ソファがあるので一人ひとりくつろげるようになっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで家で使用していた家具などや仏壇など使い慣れたものを居室に置くことでご本人様の過ごしやすい空間作りに努めている。		ご利用者様によっては居室を畳敷きにし在宅での過ごし方と変わらないように工夫している。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を行い室内の温度もこまめにチェックし、ご利用者様の過ごしやすいように調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有部分には手すりを設置し、移動(歩行)の妨げになるような物は置かないように徹底している。自室内もその方の身体機能を考え、ご家族様と相談しながらベッドに手すりを設けるなどしている。		これから先も、その方の身体機能に見合った環境作りをスタッフ、ご家族様と相談しながら工夫していきたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	分かる部分、分からない部分をスタッフが見極め混乱しないように、事前の声掛け、案内物の文字を大きくするなど工夫をしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外の空気を吸いながら談笑できる場として駐輪場にベンチ、テーブルを設けている。敷地内に畑を作りご利用者様に畑仕事を手伝って頂き、収穫時には食事の材料として提供している。		お花が好きなご利用者様が多いので敷地内に季節の花を観賞できる場所を作りたい。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

* さりげない支援を心掛けている。

* 笑顔を絶やさない。